カトリック高円寺教会教会報

いしずえ

2020 10 月号

第631号 2020・10・18 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南2-33-32 TEL 03-3314-5688 FAX 03-3314-8954

コロナ禍の中で

主任司祭 吉池好高

今年の夏は連日の猛暑でしたが、お疲れがたまっていませんでしょうか。お見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス対策の影響は教会にも及び、今年の灰の水曜日以来、主日のミサは日曜日の九時半一回のみとなりました。さらに、ミサ参加は典礼委員会が作成してくださった表にもとづき、地区毎の交替制に制限されております。また、教区の方針に従って、ご高齢の皆さまには当面ミサの参加をお控えいただいております。吉池神父も朝賀教会委員長の肝入りで、有志の方々に教会まで車で送り迎えしていただいております。ミサの主司式はクラレチアン宣教会の梅﨑神父様や吉祥寺教会の神言修道会の神父様方他にお願いし、吉池神父は祭壇で共同司式をさせていただいております。このような状況の中で、ミサに参加したくてもできないでいる高円寺教会共同体の皆さまお一人おひとりのために心を込めてお祈りいたしております。

先行きの見えない不安の中で祈ろうとしても、祈ろうとすればするほど胸が締めつけられるような思いに駆られてしまうかも知れません。そんな中、心を落ち着けるためにも、聖書を開いて、読み返してみてはいかがでしょうか。

今回は、旧約聖書の二つの箇所を開いてみましょう。一つ目は、出エジプト記十四章に語られている葦(あし)の海の出来事です。エジプト軍が背後に迫まり、行く手を海に阻まれたイスラエルの民は悲痛な叫びを上げてモーセに抗議します。それに対するモーセを通して告げられたみことばは「静かにしていなさい」というものでした（出十四・14）。

同様のことはイザヤ書七章にも語られています。アラムの王と北イスラエルの王が同盟を結び、エルサレムの都に攻め入ろうとしているとの噂がひろまった時、ユダの王アハブと人々の心は森の木々が風に吹かれるように動揺したのでした。この時も預言者を通して告げられたみことばは「落ち着いて、静かにしていなさい」というものでした。さらに、「信じなければ、あなたは確かにされない」とも言われています（イザヤ七・9）。神を信じるとは、どのような不安の中でも、心を鎮めて、神が働かれる余地を残しておくということです。

※この原稿は9月13日に頂いたものです。